

第9回 地域肝炎治療コーディネーター 教育セミナー



現場からの声

進歩を遂げた肝炎治療を届けるために

「第9回 地域肝炎治療コーディネーター教育セミナー」

【日本医師会生涯教育講座 1.5 単位認定】 取得カリキュラムコード・地域医療/13、慢性疾患・複合疾患の管理/73

謹啓

盛夏の候、皆さまにおかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。この度、下記のとおり、セミナーを開催させて頂く運びとなりました。万障お繰り合わせのうえ、ご出席賜りますようお願い申し上げます。地域肝炎治療コーディネーター又は医療従事者の方で、参加可能な方はFAXにて、別紙申込み用紙をご送付ください。なお、お申込みは 9月10日(木)までの受付とさせていただきます。ご協力いただきますようお願いいたします。

謹白

記

日 時： 平成 27 年 9 月 17 日（木） 18:30～20:00

場 所： ホルトホール大分 3階『大会議室』
大分市金池南一丁目5番1号（代表）TEL 097-576-7555

テ ー マ： 「 進歩を遂げた肝炎治療を届けるために 」

総合司会 大分大学医学部附属病院 消化器内科 遠藤 美月 先生

【話題提供 1】 18:30 ~18:50 (20分)

座長：大分県厚生連 鶴見病院 肝疾患センター長 大河原 均 先生

「C型肝炎及びB型肝炎の最新情報」

演者：大分大学医学部附属病院 消化器内科 本田 浩一 先生

【話題提供 2】 18:50~19:10 (20分)

座長：大分大学医学部附属病院 消化器内科 織部 淳哉 先生

「肝炎治療に関する医療費助成について」

演者：大分県福祉保健部 健康対策課 疾病対策班 首藤美穂 先生

【ディスカッション】 19:10~20:00 (50分)

～

※会場の駐車場は数に限りがありますので、ご来場の際は徒歩または電車バス等の公共交通機関をご利用いただけますよう、ご協力をお願いいたします。

<主催>大分大学医学部附属病院 肝疾患相談センター
<後援>大分県・大分県医師会・大分県薬剤師会・大分県看護協会

C 型肝炎及び B 型肝炎の最新治療

大分大学医学部附属病院
消化器内科 本田 浩一

(C 型肝炎)

① ジェノタイプ 1 型の C 型慢性肝炎治療

- ・2014 年 9 月にジェノタイプ 1b 型 C 型肝炎に対し経口抗ウイルス薬/ ダクラタスビル + アスナプレビルによる治療が保険適用になりました。
- ・ダクラタスビル + アスナプレビル併用療法による治療効果は、薬剤耐性がない場合の著効率は約 98% です。肝障害に注意が必要です。
- ・2015 年 8 月 31 日にソホスブビル + レディパスビル併用療法が保険適用になりました。国内第 3 相試験における著効率は 100% でした。主な副作用はそう痒症 (3.2 %)、悪心及び口内炎 (2.5%) です。

② ジェノタイプ 2 型の C 型慢性肝炎治療

- ・これまではインターフェロンをベースとした治療法しかありませんでした。
- ・平成 27 年 5 月にジェノタイプ 2 型の C 型慢性肝炎・代償性肝硬変患者に対し経口抗ウイルス薬/ソホスブビル + リバビリンによる治療が保険適用になりました。
- ・12 週間の治療で著効率は 96.4% です。貧血に注意が必要です。

(B 型肝炎)

- ・抗ウイルス療法にはインターフェロン治療と核酸アナログ治療があります。
- ・インターフェロンにより治療効果が得られるのは 3 人に 1 人程度ですが、長期的に肝炎が落ち着けばその後の治療は不要となります。
- ・核酸アナログ製剤は強力に B 型肝炎ウイルスの増殖を抑制する飲み薬で、治療効果は非常に良好ですが、長期的に治療を継続しなければならないのがデメリットです。
- ・核酸アナログ製剤の第一選択薬はエンテカビルとテノホビルです。

肝炎治療に関する医療費助成について

大分県福祉保健部健康対策課
疾病対策班 首藤美穂

大分県では、国の「肝炎治療特別促進事業実施要綱」に基づき、肝炎患者に対する医療費助成を実施しています。

国内最大級の感染症といわれるB型ウイルス性肝炎及びC型ウイルス性肝炎は、抗ウイルス治療（インターフェロン治療、インターフェロンフリー治療及び核酸アナログ製剤治療）によって、その後の肝硬変、肝がんといった重篤な病態を防ぐことが可能な疾患です。

しかしながら、この抗ウイルス治療については医療費が高額になることから、早期治療の促進のために医療費を助成し、患者の医療機関へのアクセスを改善することにより、将来の肝硬変、肝がんの予防及び肝炎ウイルスの感染防止を図ることが目的です。

平成26年9月からインターフェロンフリー治療が医療費助成の対象となり、C型ウイルス性肝炎の治療の中心となっています。さらに本年、2種類の治療法が医療費助成の対象に追加され、多くの患者さんがC型肝炎ウイルスの根治を期待しています。

医療費助成の対象となる治療

B型肝炎

インターフェロン治療 (H20年4月～)

核酸アナログ製剤治療 (H22年4月～)

C型肝炎

インターフェロン治療

単剤療法 (H20年4月～)

2剤併用療法 (H22年4月～)

3剤併用療法

・テラプレビル (H23年11月～)

・シメプレビル (H25年11月～)

・バニプレビル (H26年11月～)

インターフェロンフリー治療

ダクラタスビル・アスナプレビル併用療法 (H26年9月～)

ソホスブビル・リバビリン併用療法 (H27年5月～)

レジパスビル／ソホスブビル療法 (H27年8月～)